

別記様式（第2条関係）

会 議 結 果 報 告 書

令和2年10月19日

会議の名称	第2期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会 (第2回)
開催日時	令和2年10月19日(月) 13時00分～15時00分
開催場所	志木市民会館 3階 302会議室
出席委員	星野敦子委員長、大熊啓太副委員長、安藤圭介委員、西川和男委員、佐越信治委員、西田裕二委員、関口清久委員、久保大地委員 (計 8人)
欠席委員	小笠原諄乎委員 (計 1人)
説明員職氏名	松田秘書政策課副課長、本間秘書政策課主査 (計 2人)
議 題	(1) 第二期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について (2) 今後のスケジュールについて
結 果	委員からの意見を踏まえ修正したうえで、庁議に諮るとともに、意見公募手続を実施することとなった。
事務局職員職氏名	外立秘書政策課長、松田秘書政策課副課長、本間秘書政策課主査
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

2 議題

(1) 第二期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

事務局より、第1回会議の意見を踏まえた修正内容等を説明し、その後審議を行った。

○修正箇所の概要について

- ・基本目標について、前回会議（第1回）の意見を踏まえ文言・構成を見直した。
- ・横断的な目標2（新しい時代の流れを力にする）の具体的施策に「SDGsの推進」及び「新しい生活様式への対応」を追加した。
- ・横断的な目標3「地域と人のつながりを力にする」を新設した。

○生産緑地の活用、公園の活用について

- ・生産緑地については、平成31年3月に生産緑地の面積要件を緩和する条例を新たに制定するなど、緑地の保全に努めている。
- ・本市の魅力でもある自然豊かないろは親水公園については、民間活力を活用した遊具の更新やカフェの設置など、再整備への取組を進めている。

（委員長）

修正箇所について、意見はあるか。

（委員）

審議内容が概ね反映されており、全体としては良いと思う。政策パッケージ3-3が福祉分野ということが、タイトルからは読み取れない。横断的な目標3の新設については、賛同する。

（委員長）

続いて、基本目標について審議していく。主に基本目標と政策パッケージを議論していただきたい。基本目標及び横断的な目標について事務局より説明をお願いしたい。

○事務局より、基本目標及び横断的な目標ごとに、現状、課題、方向性、具体的施策、重要業績評価（以下「KPI」という。）について説明。

【基本目標1について】

（委員）

基本目標1は、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」とあるが、政策パッケージ1-1（出産・子育て支援の推進）及び政策パッケージ1-2（地域や社会での応援

体制づくり）は保育に偏っている印象を受ける。政策パッケージ１－１のタイトルに「結婚」というワードを加えるなど、結婚や出産の視点をもっと加えられないか。

（委員）

結婚が多様化している現代では、結婚したら出産という流れだけではないのでは。

（委員）

出産から子育てへのつながりは理解できるが、保育等の子育て支援策の充実だけが出産を希望する要因になるとは限らない。一方で、小さな自治体である志木市だからこそ、国とは違った角度で支援ができるのではないかという期待感もある。

（委員）

基本目標１に「出会い」の視点を加えるのはいかがか。

（委員）

結婚や出会いについては、横断的な目標３（地域と人のつながりを力にする）に位置付けている「地域コミュニティの活性化」の中で、網羅的に位置付けることができるのではないか。

（事務局）

本計画の主な目標は人口増加であり、出産や子育て支援が人口増加につながると考えていることから、政策パッケージとして設定した。また、出産や子育て支援策の充実には結婚への希望につながるとともに、国及び埼玉県総合戦略においても、「結婚・出産・子育て」の切り口で捉えていることから、基本目標には「結婚」を含めたい。

（委員）

政策パッケージ１－１の課題の２つ目に、「家庭、学校、地域、職域など、あらゆる分野における連携を強化し」という記述があるが、政策パッケージ１－２に関わる内容ではないか。

（委員）

政策パッケージ１－２のＫＰＩである「こんにちは赤ちゃん事業実施率」について、課題や具体的施策とずれているのではないか。

（事務局）

「こんにちは赤ちゃん事業」については、市内で活動するボランティア団体が子育て支援に携わっている事業という観点により設定したものである。

（委員）

政策パッケージ１－１のＫＰＩに待機児童対策が設定されていることに関連して、待機児童対策を行うことで、人口７万人を維持できるのか。

（事務局）

待機児童対策をはじめとする子育てのしやすい環境整備等の施策を展開することにより、２０６０年に人口７万人台を維持できると考えている。

(委員長)

女性の就業支援や就業率向上は、良いまちになる一つの要因と考える。政策パッケージ1－2の方向性に「保育の需給のバランスをしっかりと見極めながら」という記述をしているように、施策の質的向上に努めていただきたい。

(委員)

SDGsや戦略プロジェクトのロゴの説明や見方を示すページを加えた方がわかりやすいのではないか。

【基本目標2について】

(委員長)

政策パッケージ2－1（きめ細かな質の高い教育の実施）の方向性に、「幼保小の連携」、「小中の連携」、「小中一貫教育」という言葉が記載されているが、志木市では、このような取組をすでに実施しているのか事務局に伺いたい。

(事務局)

小中一貫教育の取組については、現在、中学校の先生が小学校に行き授業を行うとともに、小中9年間のカリキュラムの作成を推進するなど、スムーズに中学校に進学できるような取組を進めている。併せて、志木市全体の学力の向上に向けた取組についても、学校と教育委員会で実施しているところである。

(委員長)

政策パッケージ2－1については、保護者にとってとても魅力ある取組だと感じるので、アピールをしっかりと行うことが、市としての魅力向上につながると思う。

政策パッケージ2－2（住みよいまちづくりの推進）に、住環境のみではなく、子どもがいない人でも志木市で活躍できる、生きがいを見つけられるような要素を加えることで、転入促進につながるのではないかと考える。

(事務局)

教育の充実は、転入するきっかけとしては大きな要因の一つになると考えている。また、子どもの有無にかかわらず同世代が増えることは、地域活動への参加が促進されるなど地域活性化につながることを期待できる。

(委員)

40歳代より上の世代に対する施策について、事務局に伺いたい。

(事務局)

横断的な目標3（地域と人のつながりを力にする）にあるように、様々な場面で多くの世代が関わり合いを持てるような施策を展開していきたいと考えている。

(委員)

横断的な目標の視点は、具体的施策に含めても良いのではないかと考える。

(委員)

基本目標と横断的な目標の順番について、横断的な目標を先にした方がわかりやすいのではないかな。

(委員)

政策パッケージ2-2のKPIである「志木市空き家バンク制度延べ登録件数」について、現状値の11件とは何か。

(事務局)

KPIについては、空き家等の所有者や活用を希望する人が空き家等バンク制度へ登録した件数である。

【基本目標3について】

(委員)

政策パッケージ3-3（支え合いの地域コミュニティの形成）の具体的施策について、戦略プロジェクトに関するロゴを加えた方が良い。

(委員)

政策パッケージ3-3の具体的施策の数について、他の政策パッケージと比較すると多すぎるので整理が必要ではないかな。

また、政策パッケージ2-2は、基本目標3（コンパクトで利便性が高く、生涯安心して暮らせる環境）と、政策パッケージ2-1は、基本目標1との関連を感じており、基本目標3を設定する意義があるのか疑問に思うため、事務局の意見を伺いたい。

(事務局)

基本目標3については、人口減少を抑えるために、子育て世代を含む生産年齢人口の定住の促進を目指した目標であり、基本目標1は出生率の向上、基本目標2は転入の促進を柱としていることを、ご理解いただきたい。

(委員長)

基本目標3を生かすのであれば、政策パッケージや具体的施策を集約した方が良いのではないかな。

【基本目標4について】

(委員長)

政策パッケージ4-2（観光資源の発掘とPR）について、「PR」という言葉は古典的な印象を受けるため、「シティプロモーション」という言葉を用いてはどうか。

(委員)

政策パッケージ4-1の方向性に記載されている「市民農園事業などを通じて地元農業への理解を深める」ということについて、市民農園事業の実施がなぜ地元農業へ

の理解を深めることにつながるのか。

(事務局)

地域農業の活性化につなげるために、市民に農業を体験してもらい、理解を深めることが必要と考えている。

(委員)

シティプロモーションについては、志木市の魅力をどのように発信していくか、イメージ戦略が重要ではないかと思う。

(委員)

志木市にはさまざまな「ちょうどよさ」があって、この「ちょうどよい」住みやすさを前面に出していくことができないかと思う。

(委員)

志木市は、観光資源化するよりも、住みよいまちとしての魅力を発信していくことが、志木市を盛り上げることにつながるのではないか。

(委員)

具体的施策４－２－３（安全で快適な公園の整備）について、ボール遊びができる公園がないという声があるので、立地等に合わせメリハリをつけるなど、特化した遊び場、居場所にしていただきたい。

(委員長)

本日も活発な議論の中、多くの貴重なご意見をいただいた。本日の意見を踏まえ、事務局には素案としてまとめていただきたい。

(2) 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて確認を行った。

- ・ 庁内検討会議：令和２年１１月（予定）
- ・ 意見公募手続：令和２年１２月１日～令和３年１月４日
- ・ 第３回策定委員会：令和３年１月１９日（火）１０時～（予定）

３ その他

今後の会議において、急用等で欠席される場合は、必ず事務局（秘書政策課）までご連絡をお願いしたい。

４ 閉会

星野委員長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。